交通・防犯関係部課長会議　会議録

１　日　　時　令和３年７月 29 日（木）　午後１時 30 分～午後２時 45 分

２　会　　場　愛知県自治センター　４階　大会議室

３　当 番 市　江南市

４　出 席 者

愛　　知　　県・・・防 災 安 全 局 県 民 安 全 課 長　渡邉　勝徳
愛知県警察本部・・・生活安全総務課地域安全対策室長　國光　慎一
市　　・・・名 古 屋 市 地 域 安 全 推 進 課 長　渡邊　英一　外３８名
市長会事務局・・・財　　政　　係　　長　梶浦　稔　外　１名

５　内　　容

①　開　　会　市長会事務局　財政係長　梶浦　稔

②　あいさつ

〇愛知県　県民安全課　課長　渡邉　勝徳

皆様におかれましては、日頃から交通防犯行政にわたりまして、深いご理解と、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県内の交通事故状況については、２年連続で全国ワースト１を返上することができました。しかし、現在、県内では 61 名の方がお亡くなりになっており、統計上はマイナス 22 となっておりますが、先月６月から前年同月比を上回る方が犠牲となっております。県としましては、予断を許さない状況であると考えております。

また、刑法犯認知件数におきましても、昨年約４万件と、戦後最悪を記録しました平成 15 年の約２割まで減少しております。しかし、特殊詐欺あるいは自動車盗などが増加傾向にあり、県民の皆様の安全安心には至っていないとういう状況であります。

県といたしましては、今年「第 11 次愛知県交通安全計画」と「愛知地域安全戦略 2023」、この２本の計画を新たに作成いたしまして、県全体で取り組むべき各種施策をお示しさせていただきました。皆様方におかれましては両計画をもとに地域に則した活動を推進していただきますとともに、交通安全、防犯の急務がより一層高まりすよう、お願い申し上げます。

〇愛知県警察本部　生活安全総務課　地域安全対策室　室長　國光　慎一

刑法犯認知件数は減少傾向にあります。しかしながら個別の犯罪をみますと、例えば侵

入盗、愛知県で初めて「情報屋」という組織を検挙いたしました。「情報屋」は金持ちの家はどこにあるか、その家の家人はどういう行動形態をとっているのか、押入れのどこに金庫があるのか等、細かな情報をとってピンポイントで犯行をしかけてきます。中には強盗に発展しかねないという恐ろしい手口も発生しております。

自動車盗につきましても特定の車種、レクサスのＬＸ、ＲＸ、プリウスなど特定の車種がハンドルロック、タイヤロックを破壊されて盗難に遭っています。昨日の手口で言いますと電動シャッターをそのまま壊して盗んでいったとういう手口も報告されています。

また、特殊詐欺につきましても高齢者が特に狙われている実態にありまして、被害者の９割はその手口を知っていながら騙されています。我々の啓発が一定程度限界を迎えているというふうにも感じております。これを踏まえて各警察署には各自治体の皆様に対しまして補助金制度の創設などの対策強化を依頼しているところでありますので、ご理解いただきまして、前向きにご検討いただければと考えております。

③議　　題

〇議長選出　江南市防災安全課　課長　石川　晶崇

（１）高齢者に対する安全運転支援装置設置促進事業について（豊橋市提出）

〈趣旨説明〉

令和２年度、豊橋市では予算を約６千万円つけて実施しておりますが、結果は約７パーセントの 455 万円の執行率でした。今年に入ってもまだまだ伸びが低迷している状況です。国からのサポカー補助制度が来年３月で終了という事ですが、国からの補助がなくなったあと、この事業を継続するかどうか方向性とその理由をお伺いしたいです。

豊橋市は、ＪＲ、名鉄、豊橋鉄道があるが、中心部から離れていくと交通状況が厳しく、特に高齢者の方については自主返納等も推奨しているが、自主返納したあと車がなくなると日常生活に支障をきたすため、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する後付け装置を促進したい。

豊橋市としては、予算は減額になるだろうと思うが、市単独となっても継続していきたいと思っております。新車で安全装置が装備されていることが当たり前となってくる中で、古い車に乗り続けている方に推進していきたいと思っています。

●江南市（議長）

国からの補助がなくなったところで、市としてどうしていくのかとういうところを各市町村の取り組みを伺いたいと思います。

●安城市

本年度末までの県費補助がなくなったとしても実施していくという方針で年度当初から啓発しておりますので、そのつもりで進めている状況です。

来年度以降については実施しないと考えております。

●北名古屋市

基本的には国と同じという方針は出ていたが、施策的、金額的にも高額ではないので、将来的にこの補助金が続けられるなら、財政と相談しなくてはいけないが続けていけたらと考えております。

●愛知県

県としては、続けるかどうか財政当局と調整中です。今年度は予算をとっていますので実施すると思うが、利用者にとっては国の補助金がなくなった分を利用者が補填するということになりますので少し負担になるかと考えております。

●刈谷市

2022 年の６月をめどに、サポカーに限定した免許が出てくるということを聞いたが、その場合のサポカーというのは、どの程度のものであるのか教えてください。

●愛知県警察本部

詳細については県警にもまだ降りてきていない。国でプロジェクトチームを作って検討中ということですので、今しばらく静観いただけたらと思います。

●みよし市

当初は、高齢者安全運転支援装置の制度自体が令和２年度までで終わると聞いていたが、令和３年度も継続ということで、非常にいいことだなと思うのですが、どうして１年と言っていて継続したのかということと、今回国が突然やめた理由がわかれば教えていただきたい。

継続してやってきたことで設置率があがってきたなど、数字がわかるものがあればいいがどうでしょうか。

●愛知県

国がなぜ延長したかというのは、結局、予算が使いきれなかったということが背景にあり、予算があるうちは続けるということでした。

県といたしましても、昨年約２億円の予算を用意したが、実際昨年の執行が１億円弱ということで、積み増しをして今年度予算建てをしました。

具体的な数字は手元にないのでお答えすることがでませんが、２年目なので昨年よりは設置率は上がっていると考えられるが、想定の範囲まではいっていないというのが正直なところです。県としては来年度も続けるという予定はありません。

（２）高校生の自転車用ヘルメット着用率促進について（豊橋市提出）

〈趣旨説明〉

昨年度、豊橋市の条例に基づいて、ヘルメットの購入費を半額、上限 2,000 円ということで全年代に補助を実施してきたが、1,557 件の申請があり、そのうち高校生が 12 件という状況でした。

今年の３月４日に公立高校の生徒が自転車で横断歩道を走行中、高速の車にはねられて死亡するという痛ましい事故がありました。その被害者は特に横着な運転をしていたわけではないが、そのときヘルメットをかぶっていませんでした。ヘルメットをかぶっていなかったことと死亡との相関関係はないかもしれないが、このときヘルメットをかぶっていれば助かったかもという意見があるのも現実です。

事故があるとヘルメットを着用しようという動きが他県ですと活発化するが、この事案を豊橋市内の県立高校等に話したところ、ヘルメットを強制することはできない、校則化することはもってのほか、「ヘルメット」というワードを出すと校長先生が完全に拒否反応を示すぐらいの強い抵抗がありました。そういった中で、どうしたら高校生が自発的にヘルメットをかぶるだろうかということで、昨年市内の県立高校の生徒を 10 名ほど集めて意見交換する全体会議を開催しました。

豊橋市としては、なんとか高校生の着用率を１人でも上げていきたいということで、次は私立高校、市立高校にもアプローチしていかなくてはいけないと考えているが、各市町での取り組み、実際の温度というのがどのようなものか教えてほしい。

●豊川市

平成 30 年４月に「豊川市自転車の安全な利用の促進に関する条例」を施行しております。その際、高校に個別に訪問しましたが、このときは条例施行の周知を依頼しましたが拒否反応等はありませんでした。

●豊橋市

津島市は市、警察、高校が連携して生徒会、野球部員などへの啓発活動を行ったという事ですが、学校、生徒たちの反応を教えてください。

●津島市

新しい制度の始まりを周知するため啓発を行ったが拒否反応等はありませんでした。

●刈谷市

豊橋市に確認ですが、拒否反応と言われましたが、その理由は何かわかりますか。

●豊橋市

理由ははっきりと明言されなかったが、過去に一部校則化している学校もあったと思います。しかし、校則化すると実際にかぶっているかどうか、通学時間に通学経路を先生たちが見張っていなくてはいけない。当然かぶっていない生徒を見かけたらそこで止めて生徒手帳を取り上げて指導し、それをまた担任の先生に渡し、担任の先生からも指導をさせる。また、学校の中だけではおさまらず近所の住民の方たちが、制服でわかるのでどこそこの生徒はヘルメットをかぶっていないじゃないかと苦情がくる、その苦情対応に追われるということで、実際の先生たちの教育に対する業務＋αによって大きな負担になったということで高校の方がギブアップした。ある高校については、絶対ヘルメット着用だったが今は推奨レベルに落としている。おそらくヘルメットが校則化されると学校の人気などにも影響がでるなど、いろいろな背景があるようでありました。

●刈谷市

確かに一部だと人気がなくなる、偏差値が下がるなどもあるかと思うが、今市長会でも出されているように愛知県内全体で行えばいいのかなと思います。ただ、もし成人を対象にしたときに、例えば会社でヘルメット着用と義務化されてしまうと自転車に乗る人が少なくなり、車を使うことになり、健康的にもよくないのではないかなど、いろいろなことを考えると、これという施策がない状況です。

●東海市

東海市では令和元年度からヘルメットの補助を始めたが、ＳＧマークなどの安全認証のついたヘルメットを販売していただくよう事業者にお願いしに行ったところ、事業者側は、ヘルメットを着用させようとすると自転車の購入自体をやめてしまう傾向があるとはっきり言われました。県の自転車条例の会議の中にも、自転車販売事業者からヘルメットを強制にすると自転車が売れなくなってしまうという記載もあったかと思います。

●愛知県

先般、豊橋市のお話、他の市町村からも同じような話をいただいているので教育委員会に文書を発出してほしいということをお願いしたが、県立高校というのは校長会が非常に力を持っているので教育委員会ではなんともなりませんという返事がありました。

しかし、10 月 1 日から条例が完全施行となり、ヘルメットの努力義務ということになりますので、条例の遵守を含め文書を発出してもらう予定であります。

条例で義務化をしなかったということについては、やはりよその国では義務化したことによって自転車の活用率が非常に減ったというデータもあり、条例制定の中

でもいろいろな話が出ました。

愛知県といたしましては、国が自転車の活用推進法を作っている中、ヘルメット着用を義務化することで自転車の活用が減ってはいけないということで、あえて努力義務としました。

10月1日まであと2ヶ月程ありますが、県としても検討会議を設置して、なんとかヘルメットをかぶってもらえるようなパンフレット等を作っていく予定でありますので、各市町の方についてもぜひご協力をお願いします。

（3）自主防犯団体活動の参加者の確保と協力体制について（豊橋市提出）

〈趣旨説明〉

意識調査などを行うと、自主防犯活動に参加していない、参加していたとしても参加者は高齢者に偏ってきている。

実際そういう方たちがどういったところをパトロールしているのか確認すると、学校の近く、公園の近くが中心となっている状況で、割とルートも固定化しているということで防犯活動の実効性という部分で考えると、今後は犯罪の発生件数の多いところ、起こりうるところをわかりやすく視覚化して、市民の人にも防犯意識を持ってもらえるようにしていくことが必要だと思いますが、各市町で行っている施策等があれば教えてください。

●名古屋市

名古屋市では、ＡＩを活用した犯罪予測を用いて防犯パトロールの新アプリを地域防犯パトロール団体等に提供してパトロールを行っていただくという事業を始めております。モバイルアプリをスマホに入れていただき、そこでパトロール場所や距離などを選んでいただくと、警察からいただいた犯罪データをもとにした最適なパトロールルートを出してくれるというようなものなので、今までは自分たちでパトロールルートを考えなければいけなかったという点が大幅に省略されて効率的にパトロールができるということ、防犯意識、防犯への取り組みやすさなどの点で裾野が広がっていけばということで、現在使用いただけるパトロール隊を募集しているところであります。

●刈谷市

名古屋市が言われたモバイルアプリですが、誰が開発したもので、どういうものか教えてください。

●名古屋市

開発されたところは、東京都の「株式会社Ｓｉｎｇｕｌａｒ　Ｐｅｒｔｕｒｂａｔｉｏｎｓ（シンギュラーパータベーションズ)」という会社です。

ＡＩを活用した防犯対策というのは、警察などがやられているのですが、地域団体がこういうものを利用して防犯に取り組むということは全国的にも初めての事例ではないかと思います。

●刈谷市
このアプリは他の地域でも使えるのでしょうか。

●名古屋市
業者が名古屋市のデータを集め、解析して作られたので、どこでも使えるわけではなく、開発を委託して行うということになります。

●刈谷市
名前はありますか。

●名古屋市
「パトロールコミュニティ」という名前です。
８月６日にＹｏｕＴｕｂｅでＰＲ講演会をライブ配信する予定でおります。

●愛知県
自主防犯団体についてですが、現在県下に 3,714 の自主防犯団体があり、そのうち大学が 16 団体です。県でも先般募集をし、最大 25 万円の補助金を出して防犯団体の活性化を図っております。今年から若者の団体に対しても三つの団体を募集したところ中部大学、愛知大学二つの団体から応募がありました。その他に若者世代との連携ということで中区、千種区、春日井市から応募がありました。
県としても、25 万円の補助ということを謳って毎年募集をしておりますので各市町の方もそういった補助金を活用していただき、自主防犯団体の活性化を図っていただければと思います。

●愛知県警察本部
ボランティア活動につきましては、高齢者が多いという問題点は共有できております。最近では大学生ボランティアが増えてきているということですが、実際に大学生ボランティアの心理を聞いてみますと、やはりインターンシップという観点でいろんな方と関わることができるですとか、ボランティアをやっているということで就職活動に有利になるという背景もあるようですのでまだまだ拡大の余地はあるかと認識しております。
もう一点活性化につきまして、県警としてもアプリを作っております。
「アイチポリス」というスマホアプリで、自分の位置情報とその周辺の過去の犯

罪情勢がわかるというものです。パトロールをすればするほどポイントが貯まり、アプリ内のアイコンと交換できるくじ引きや、やればやるほどパトロール見習いからレジェンドまで格が上がっていくという楽しみ機能もつけております。名古屋市は未来を予想したＡＩ、県警は過去の犯罪情勢を投じているといったところで区分けがされております。双方のメリットを見極めていただいてご活用いただけたらと思います。

（４）地域が設置した防犯カメラの維持管理補助について（尾張旭市提出）

〈趣旨説明〉

本市におきましては、地域の自治会等が設置した防犯カメラに対して補助金の交付をして支援をしています。設置の費用については補助をしている状況ですが、維持管理にかかる費用については補助を行っていないので地域から維持管理についても支援をしてほしいという声があがっております。

各市町それぞれ取り組み方は異なると思いますが、地域が補助金を活用して設置した防犯カメラの維持管理に対してどのような支援を行っているかお聞きしたい。

また、防犯カメラをリース契約で設置した場合の補助金の相談がありました。本市ではリース契約による防犯カメラの設置は補助金の対象としておりません。もし補助金の対象としている市町があれば、どのような補助金で対応しているのか教えていただきたい。

●江南市（議長）

リース契約による設置について補助の対象としている市町は挙手をお願いします。

（挙手なし）

●尾張旭市

ソーラータイプの防犯カメラのリース契約について相談がありましたが、県内ではリース契約に対しての補助がないということですので参考にさせていただきながら検討します。

●蒲郡市

警察の防犯診断を蒲郡市の地域で実施したところ、防犯カメラは設置されているが看板が少ないと言われました。防犯カメラを１台設置したらその 10 倍から 20 倍の看板を設置すればそれで抑止力になるそうです。しかし、本市では設置に対する補助金はあるが、看板に対する補助金はありません。

町内会、団体が看板を購入することに対して補助金を交付しているという市町があれば教えていただきたい。

●刈谷市

刈谷市では警察の中にある防犯協会の予算で作成したプレートを配布したり、市の予算で作成したプレートを地元要望があれば配布しております。地域の補助ではありませんが、市独自で防犯カメラを 1,200 台ほど設置しており、維持管理も市が行っておりますが、高額になることから中部電力の見守りポールというものの導入を検討しております。県内でこの見守りポールを導入されている市町がどれくらいあるか教えてください。

●江南市（議長）

中部電力の見守りポールを導入しているという市町は挙手をお願いします。

（名古屋市　安城市　常滑市　東海市　大府市　知多市　日進市）

●名古屋市

見守りポールの導入にはリースと購入の２タイプがあり、地域が導入する場合、導入費と維持費がセットになっているはずだが、どこまで補助対象としておりますでしょうか。

●一宮市

見守りポールに対する補助ですが、購入とリースありますが、購入タイプのもののみ補助対象としております。維持費の部分は外して設置購入の部分だけの２分の１上限 100 万円としております。

●愛知県警察本部

前向きに進めていただくための武器として防犯カメラがあります。最近県警で押収した資料の中に特殊詐欺の「出し子」のマニュアルが押収されましたが、その中に「かけ子」が高齢者宅に電話をし、脈があるところに「出し子」を投じるというような手口があり、「出し子」の待機場所としてネットカフェやコンビニ、駅は防犯カメラがあるので避けろというようなマニュアルがありました。最近は家がわからないから出てきてくれということで、公園や歩道橋まで高齢者を呼び出してお金を受け取るというような傾向にあります。これは警察の騙されたふり作戦に対する対策でもあります。このことから犯罪を抑止するためには防犯カメラが非常に効果的であるという裏付けとして活用していただければと思います。

もう一点、防犯カメラの看板ですが、各自治体にトライアルカメラ（体験型カメラ）の一定期間貸し出しを進めており、それに付随して「防犯カメラ推進地区」というプレートを貼るように推奨しております。

防犯カメラ１台につき 10 倍程度のプレートを貼るように勧めておりますが、防

犯カメラを取り付けるのもハードル、プレートを取り付けるのもハードルがあるというふうに認識しており、各自治体でこのプレートを貼るということだけでも進めていただければ県警としても助かります。ちなみに各警察署の防犯協会が取り扱っている看板は１枚 500 円程度で購入できますので、こういった啓発もよろしくお願いします。

（５）コロナ禍においての交通防犯啓発活動の実施及び各協力団体の参加の状況について（尾張旭市提出）

〈趣旨説明〉

昨年から新型コロナウイルス感染症防止のために様々なイベント、行事の中止もしくは縮小ということが余儀なくされている状況かと思います。昨年度の実施について本市におきましても不特定多数の接触を避けるといったことから街頭でのキャンペーンチラシや啓発物品の直接の配布は中止して、展示などに変更し、交通防犯教室も少人数制にして回数を増やして実施するというふうに実施方法などを模索しながら啓発活動を行ってまいりました。ただ、今後どうなっていくのか不透明なところであり、新しい生活様式というようなことも言われておりますので、この状況下の中で交通や防犯の啓発活動を行うにあたりまして、各市でどのような工夫や方針をとられているのかお伺いしたい。

また、啓発活動については、いろいろな方にご参加いただいていると思いますが、コロナ禍において参加の状況もあわせてお伺いしたい。

小牧市にお伺いしますが、防犯の啓発活動の内容の中に普段の生活の中での「ながらパトロール」を励行しているとのことですが、コロナ禍だからというわけではありませんがウォーキングや散歩をされる市民が大変多い中で、この「ながらパトロール」は防犯活動としてとても大切な取り組みだなと感じておりますし、パトロールされる方の防犯に対する意識の向上につながると思います。

本市でもこういった「ながらパトロール」をやったほうがいいという声があり、実際試したことがありますが、なかなか実績が上がらない状況が続いている状態でありますが、小牧市ではこの協力の呼びかけをどのような方法で行っているのか、またパトロールをされる方に何か資機材等をお渡しになられているのかお伺いしたい。

●小牧市

「ながらパトロール」について、あくまでもボランティアの方々の負担にならないように行ってくださいということを強くお知らせして行っております。

本日も本会議終了後、小牧市内の防犯パトロール団体と一緒にパトロール予定でありますが、市役所や警察が一緒にパトロールを行うと非常にモチベーションが上がっていただけるので、市役所や警察が一緒に行う、無理をしない程度に行うとい

うことを二つ進めております。

コロナ禍でどういった工夫をしているかということについては、どこの自治体も苦労されていると思いますが、当市では特にケーブルテレビとＹｏｕＴｕｂｅを活用した啓発活動を実施しております。また、コロナのワクチン接種会場でワクチン接種後に約 30 分間の待機時間があるかと思いますが、その待機場所に広報啓発コーナーとテレビモニターを準備し、交通死亡事故、特殊詐欺や防犯に関するＤＶＤを流し啓発につとめております。

●一宮市

県警に見通しをお伺いします。

本市では高齢者訪問を実施しており、この機会を利用して各種防犯、交通安全に関する啓発を行っております。警察活動については各種巡回連絡というものがあり、巡回連絡はこういった防犯、交通安全の情報提供において絶好の機会だと思っておりますが、現在コロナ禍を理由にして活動を控えていると聞いております。

県警として巡回連絡の機会を利用した防犯、交通安全の広報啓発について再開する予定はあるのでしょうか。

●愛知県警察本部

現状は、警察本部長の通達をもちまして不特定多数が集まるイベント、会議等の中止または延期、巡回連絡の延期こういったものが示達されておりますので、こういったことは一切行わないという方針を掲げております。

これは、ひいては愛知県知事からのまん延防止の措置を踏まえたものであることから、今後についてはコロナの情勢次第ということになります。

●一宮市

私どもの高齢者訪問は、本来であれば直接面会をして、お話もさせていただくところでありますが、現在コロナ禍にあり非接触型ということでポスティングに留めております。巡回連絡もそのような形であれば実施可能であると思いますので一度ご検討していただければと思います。所管外だと思いますが失礼いたしました。

●愛知県

県といたしましても、イベントは指針に沿ってやっていくというのが現状であります。原則手渡しはＮＧということで先般も夏の安全なまちづくり県民運動の初日に名古屋駅と金山駅において、名古屋市と一緒に啓発品を手渡しではなく買い物かごなどに入れてお持ちいただくというかたちで啓発を行いました。こじんまりではありますが、手渡し以外の方法で県としては粛々と進めていくという予定をしておりますので参考としてください。

●愛知県警察本部

県警でもこういった不特定多数のイベントはできないということで、各警察署にご当地動画を作ってもらい、観光地を回りながらこの警察署管内の多発している犯罪をどうしたら打開できるのかというような動画をＹｏｕＴｕｂｅで流したり、声で仕事をしている、例えばラジオパーソナリティですとかの音源を使って交通安全キャンペーン、交通安全の啓発音源を作ってパトカーで流したり、コロナ禍ならではの活動を進めております。

（６）その他

●刈谷市

第 11 次交通安全計画を今策定しておりますが、刈谷市の場合ですと今後の予定として 12 月にパブコメ、そのあと１月の末ぐらいに対策会議を開き、３月委員会に報告した後、実際に年度末ぐらいにこれまでも出していた状況なのですが、各市の策定時期はいつ頃になるかお教えください。

令和３年 10 月までに策定予定　…　名古屋市　みよし市
令和３年 12 月までに策定予定　…　春日井市　豊田市　安城市　東海市　田原市
令和４年　１月までに策定予定　…　稲沢市
令和４年　３月までに策定予定　…　上記以外の市町

④次年度当番市の決定　小牧市

⑤閉　　会　市長会事務局　財政係長　梶浦　稔